

(別紙2-2)

事業所名: シャルールコパン

作成日: 平成 28 年 1 月 26 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	6	権利擁護に関する資料を備え、ご家族等より相談があった場合には、関係機関へ繋げる態勢にはあるものの、制度に対する知識や現状の理解は浅く、高齢者介護を担う組織としての力が不足している。	職員は制度に関してある一定の説明ができ、また管理者はより具体的な制度の説明ができる程度の知識を身に付ける。	出前講座や外部研修を利用し、日常生活自立支援事業や成年後見制度、大牟田市の現状等の勉強会を定期的に行う。 12ヶ月
2	16	火災については訓練を年2回実施し、避難手順や方法を身に付けているが、地震・風水害については訓練が行えておらず、具体的なマニュアルも整備できていない。自然災害が少ない地域とはいえ、大雨や積雪等近年の異常気象に備える必要がある。	全ての職員が、地震・風水害が起きた時にマニュアルを活用して適切な行動がとれる。	・地震、風水害の既存のマニュアルを改めて確認する。 ・マニュアルをより具体的な内容に見直す。 ・会議や訓練の場で、シミュレーションを定期的に行う。 12ヶ月
3	16			ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。